

菰 農 第 1 7 0 号
令和 8 年 7 月 2 4 日

各地区長 殿
各 組 長 殿

菰崎市長 内藤 久夫
(公印省略)

農作業安全・熱中症対策に関する啓発チラシの回覧について（依頼）

平素より、農林業行政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、農林水産省及び山梨県から、農作業中の事故防止及び熱中症対策の徹底について、注意喚起がありました。

地域の皆様が安全に農作業を行っていただけるよう、組回覧により周知していただけますようお願い申し上げます。

記

同封文書

- 農作業安全に関する啓発チラシ
- 熱中症対策に関する啓発チラシ

お問い合わせ先

菰崎市 農政課 農林振興担当

Tel0551-45-9104（直通）

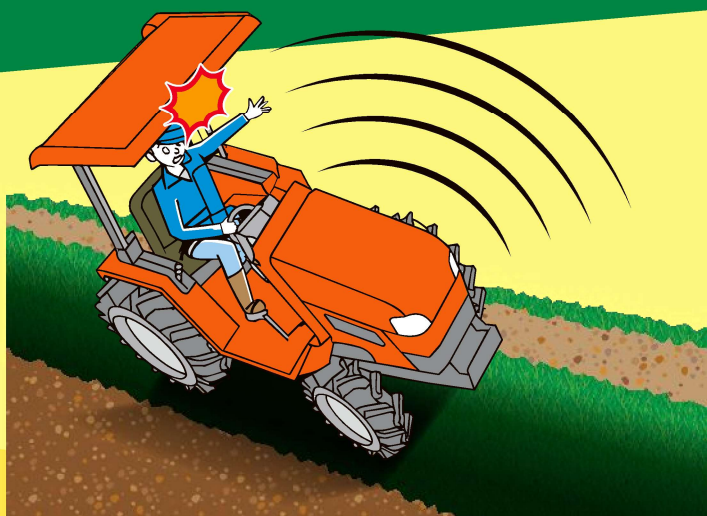
農作業は

焦らず、

急がず、

慎重に!

農作業
安全チェック!

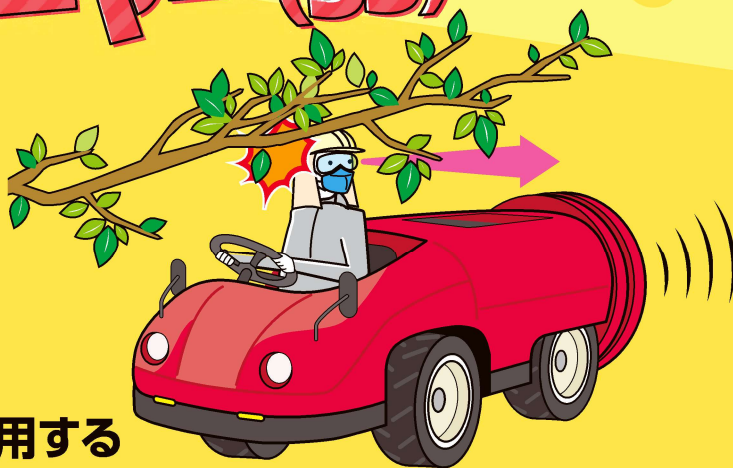


トラクター

- シートベルト、安全フレームを正しく使用する
- 作業場所の危険箇所を確認
- 点検時はエンジン停止
- 公道走行時は交通事故に注意

スピードスプレーヤー (SS)

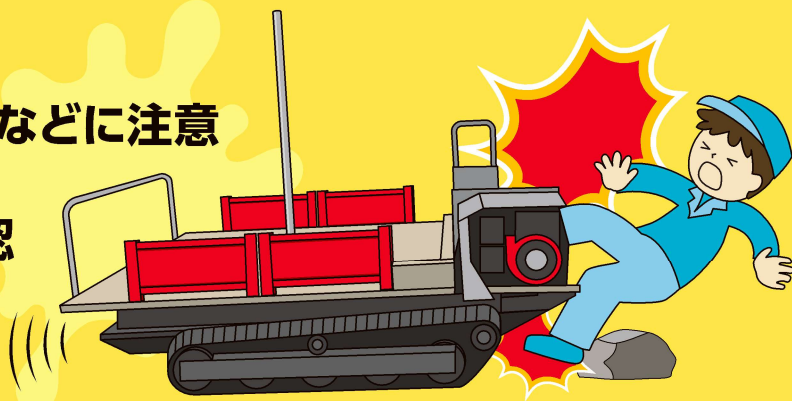
- 作業中に前方も確認、挟まれ注意
- スピードの出し過ぎ、急ハンドルをしない
- 土手からの転落に注意
- 安全フレーム付きの機体を使用する



一人作業を避け、家族・地域で声かけし、 農作業事故をなくしましょう

昇降機

- 畑・道路の端や路面の段差などに注意
- 後進時は低速で、後方に障害物はないか確認
- 傾斜地で使用しない
- 上昇時の挟まれに注意



刈払機

- 防具を身につける（保護めがね等）
- 切り株、石などの危険物がないか作業環境を確認
- 周囲に人がいないことを確認

熱中症

- こまめに休憩、水分・塩分補給
- 外作業は涼しい時間に
- 空調服などで体温を下げる
- 一人で作業しない、行き先を伝える
- 体調不良、睡眠不足でないか確認



7月から9月は

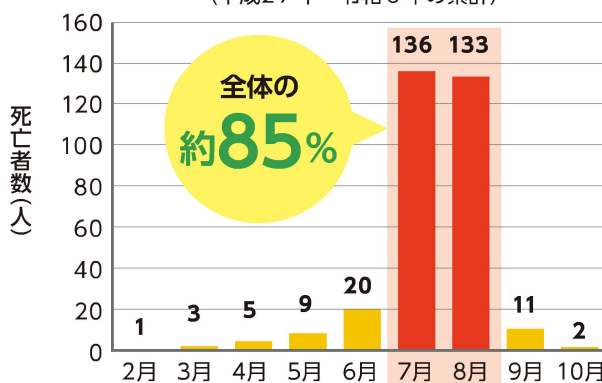
夏の熱中症等声かけ期間 です!

農作業中の熱中症等による死亡者が急増しています!

このうち、約85%が7～8月に発生しており、非常に熱中症リスクが高くなっています。

熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります!

農作業中の熱中症による月別の死亡事故件数
(平成27年～令和6年の累計)



出典：農作業死亡事故調査（農林水産省）

声かけ活動のポイント

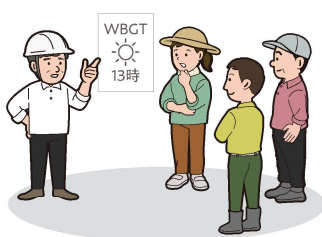
家族で



作業前後だけでなく、作業中もこまめなコミュニケーションを

- ☐ 「水分、持った？」
- ☐ 「体調が悪くなったら、すぐに連絡して」

職場で



その日の体調や暑さに応じて柔軟な声かけを

- ☐ 「顔色わるいよ、休憩しよう」
- ☐ 「WBGT 値が高いから、昼は作業を中断しよう」

地域全体で



顔を合わせたら、まず一声声かけを

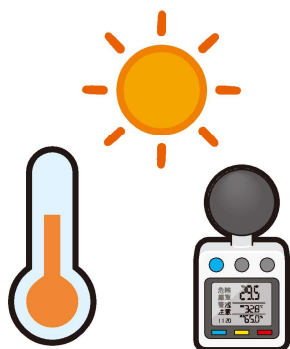
- ☐ 「今日は熱中症警戒アラートが出てるよ」
- ☐ 「夏は疲れやすいから、高い所も気をつけて」

キャッチ
フレーズ
は

「いのちをうばう、 夏のひとり作業」



熱中症対策の3つのポイント



温度やWBGT値を見て作業を考えよう

- 暑さに応じて、作業内容を調整
- 重い作業は、朝夕の時間帯にずらす、または休憩や給水の回数を増やす



こまめに休憩を取ろう

- 20分おきを目安に休憩
- 休憩時には水分・塩分補給を（コーヒー・緑茶はさけ、水・スポーツ飲料など）
- 日陰や冷房のある場所で体を冷やす



もしもの時の応急処置

- 異常を感じたらすぐ作業を中断し、涼しい場所で衣服を緩めて身体を冷やす
- 意識がもうろうとしている・返答がおかしい場合は、直ちに119（または#7119）を



農業は1人作業が多く、
熱中症になった際に自分では症状を自覚しにくいことから、
熱中症が重篤化しやすい傾向にあります。
また、高温の日は疲れ等により、
高所から転落する等の事故が起きやすいので注意が必要です。

どうしても、一人作業を避けられない場合は…



携帯で家族等と30分おきに
連絡を取り合う



危険な状態をアラートで伝える
ウェアラブル端末を着用する

暑さ対策には
スマート農業技術や
農業支援サービス事業者の
活用も有効です！



一人ひとりの「大丈夫？」が、命を守ります。
この夏は熱中症による死亡者0を目指しましょう！



農林水産省補助事業（農作業安全総合対策推進）にて作成

制作事務：一般社団法人日本農業機械化協会

その他熱中症
対策は農水省HP